

障害者の性被害 実態告発

NPO法人 鹿児島でシンポジウム
立件支える法改正求める

障害者への性暴力問題に
取り組むNPO法人「しあ
わせなみだ」(東京)主催の
シンポジウムが12日、鹿児島
市で開かれ、被害が表に出に
くい実態を関係者が指摘し

障害者への性暴力問題を考
えるシンポジウムで、発言
するNPO法人「しあわせ
なみだ」の中野宏美理事長
(右) 12日午後、鹿児島市



「障害者が抱えるリスクを
知ってほしい」と訴えた。
しあわせなみだは性暴力
撲滅を目指し2011年に
NPO法人化した。全国キ
ャンペーンとして本年度中
に10都府県でシンポを開催
することになり、鹿児島で
第1弾が企画された。
同法人によると、障害者
の被害は供述にあいまいな

部分があるなどして、立件
に至らないケースがある。
社会福祉士の中野宏美・同
法人理事長は「国は実態を
把握するとともに、(立件
しやすくするよう) 刑法の
見直しをしてほしい」と指
摘。障害者に対する性暴力
問題を考える自民党プロジ

エクトチーム座長を務める
宮路拓馬衆院議員は「冤罪
(えんざい) がないように
しながら、救済に努めたい」
と述べた。
シンポには福祉関係者や
学生ら約120人が参加
し、貫地谷しほりさんが出
演し知的障害者の性被害も

扱った映画「くちづけ」も
上映。志学館大の淵脇千寿
保講師(刑法)は映画の内
容を振り返りながら「性犯
罪は障害者の自立を妨げる
ことにもつながる」と話し
た。